

## 第4章 将来展望の検討

### 1. 将来展望に関する現状認識について

これまで、国では年少人口の減少が続き少子化が進行しながらも、ベビーブーム世代、いわゆる団塊の世代という大きな人口の塊があったため、人口が極端に減少しませんでした。その人口貯金ともいえる状況が、使い果たされたことが明らかになったのが、日本全体においては、2008年といわれ、この年を境に日本の総人口は、減少局面に入りました。

八百津町の総人口は、年々人口減少を続け2010年には12,045人となりました。また、1985年～1990年の間に年少人口比率と高齢人口比率の逆転がおき、今後も人口構成が変化しながら、本格的な減少傾向に入っていきます。

人口減少の進行によっておきるのは、単に人口が減少していくだけでなく、人口構成そのものが大きく変化します。低出生率が続き少子化が進行する中で、生産年齢人口も減少し、平均寿命の伸長もあいまって急速に高齢化が進んでいきます。

人口減少に伴い、国内の経済市場規模の縮小や労働力人口の減少を通じた経済のマイナス成長、世界経済における立場の相対的低下が懸念されます。さらに、高齢者の増加と若年層の減少に伴い、年金、医療、介護など社会保障における現役世代の負担が増大することから、国民の生活水準の低下が指摘されています。また、商業施設や医療機関などの生活関連サービスとバスなどの地域公共交通が縮小・撤退することで、地域社会や暮らしなどへのマイナスの影響が考えられます。

一方、人口が減少することで、水や食糧、エネルギーの消費量が減り、環境負荷が低減されるほか、住宅や土地、交通混雑などの過密状況が改善されるなどの影響も考えられます。家族の姿も大きく変わり、将来の平均世帯人員や世帯総数が減少する一方で、世帯主が65歳以上の高齢世帯や、高齢者単身世帯は増加することが見込まれています。

八百津町においては、自然増減・社会増減の影響が小さくないため、転出を抑え、より住みやすい町づくりを進める必要があります。また、子育て期に当たる20～39歳女性人口の減少などを考えると、自然増減・社会増減の両面に対する施策に取り組む必要があると考えられます。

## 2. 人口減少の克服を目指す取り組みの方向性

---

人口減少は、明日からの生活に直ちに大きな影響はなくとも、今後の経済・暮らしの様々な面に影響を与える可能性は高いと考えられます。これまで我々が経験したことのない人口減少に単に不安を抱くだけでなく、できるだけ早期に人口減少に歯止めをかけること、また、当面の人口減少の進行と人口構造の変化を前提に、社会の仕組みを捉え直すことを考えていかなければなりません。

大切なことは、この現実を漫然と受け止めるのではなく、これから、どのように暮らし、どのような地域をつくりたいのかということを考え、取り組んでいくことです。また、八百津町においても、地域ごとに異なる人口減少の状況や課題を踏まえ、強みや特徴を活かした人口減少・適応対策も並行して進めていくことが必要です。

まち・ひと・しごと創生を一体的に推進し、以下の3つの方向性で進めていきます。

### ① ともに働く環境を整備し、人口減少に歯止めをかける

生産年齢人口の層と幅を増やすために、元気な高齢者にも参加してもらい、八百津町の持つ魅力に磨きをかけるとともに、新しい仕事の創造と現状足りていない仕事分野への手当てを厚くし、子育ても含め、各現場が孤立しないグループを整備して、次の世代へ続けていく。

### ② 人口減少に対応した若い世代の仕事・雇用、子育て、教育を支援する生活環境の整備

人口減少を克服し、将来にわたり安定した人口を維持していくため、社会移動（転入・転出）を均衡させるとともに、切れ目のない支援により、住民が安心して働き、若者が希望どおり結婚し、妊娠、出産、子育てができる社会環境を実現する。

### ③ 安全・安心な暮らしやすいまちづくり

人口減少・少子高齢社会を迎える中、活力あるまちであり続けるため、地域が直面する課題を解決し、住民が将来にわたって安全・安心で、健康的に暮らしやすいまちを実現する。

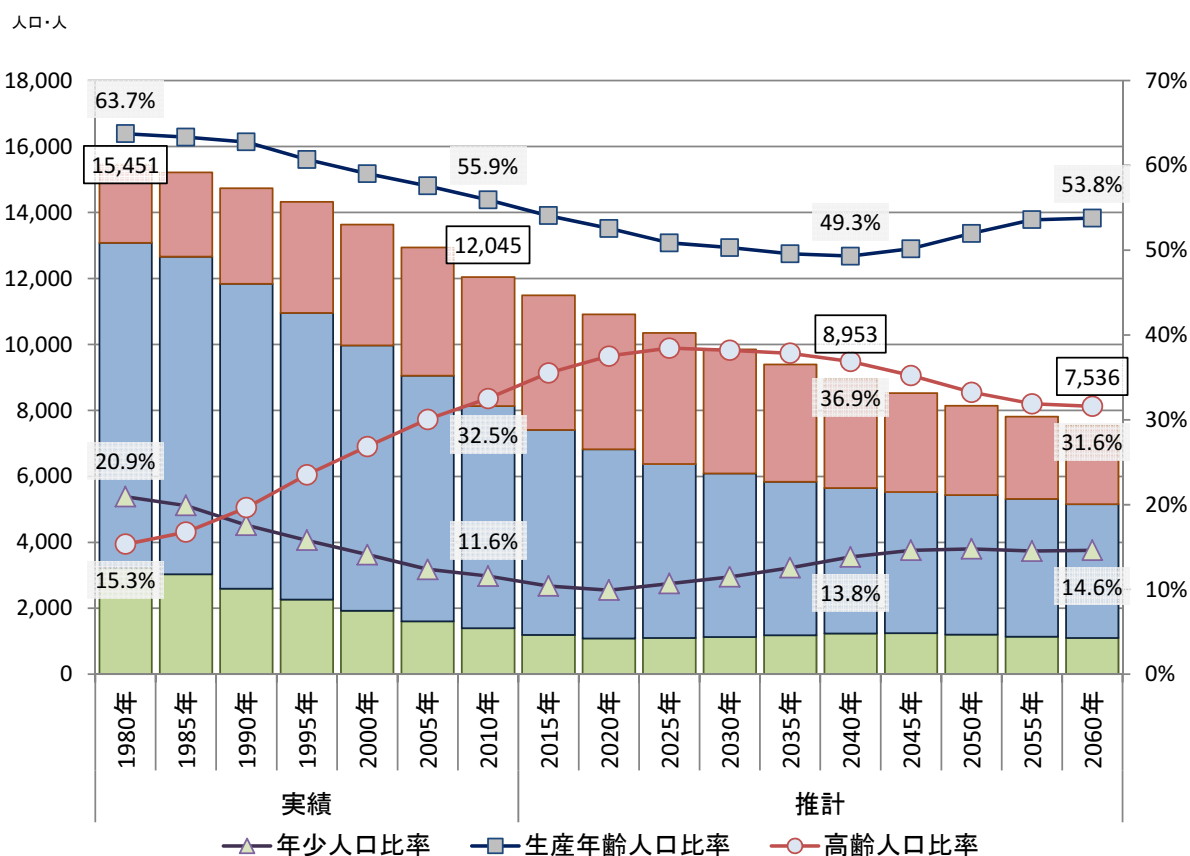
### 3. 人口の将来展望

国の長期ビジョンと岐阜県のまち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ目標としながら、八百津町の様々な施策と人口対策の効果が十分実現すれば、若い世代の結婚が促進し、出産・子育ての希望が実現し、出生率が2040年に国が求める「2.07」へ上昇すると想定しています。

また、社会増減は続くものの、積極的な移住や定住促進施策により、2060年頃に均衡する想定です。これにより八百津町では、社会移動はなし（均衡する）と考え、

**「出生率が2040年に2.07」**の水準まで向上することを目標とします。

人口の将来展望（年齢3区分別人口及び割合）



#### ■2060年の目標人口「7,536人」

推計を踏まえるとともに、今後の地方創生の進展を期待して、2060年の目標人口を「7,536人」とします。

## 八百津町 人口ビジョン

---

発行年月：平成 28 年 3 月

発行：八百津町役場総務課

住所：加茂郡八百津町八百津 3903 番地 2

電話：0574-43-2111

FAX：0574-43-0969